

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	無期限
主投資対象	親投資信託である「しんきんアジアETF株式マザーファンド」を主要投資対象とします。
運用方針	<p>①投資にあたっては、主として「しんきんアジアETF株式マザーファンド」(以下、マザーファンドといいます。)の受益証券への投資を通じ、原則として以下の方針に基づき運用を行います。</p> <p>1) 国内外の金融商品取引所に上場している投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。以下「上場投資信託証券」といいます。)への投資を通じ、主にアジア各国(日本を除く)の株式に分散投資を行います。</p> <p>2) 投資対象となる上場投資信託証券の国別投資比率および銘柄選定にあたっては、市場規模、市場動向ならびに成長性、収益性、流動性等を勘案して行います。</p> <p>②マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>④市場動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>
主投資制限	<p>①マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②マザーファンドを通じて投資を行う上場投資信託証券への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>③マザーファンドを通じて投資を行う同一銘柄の上場投資信託証券への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の50%を超えないものとします。</p> <p>④外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p>
収益分配方針	<p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます)等の全額とします。</p> <p>②分配金額は委託者が基準価額等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は分配を行わないこともあります。</p>

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社
 <コールセンター> ☎ 0120-781812
 (土日、休日を除く) 携帯電話・PHSからは03-5524-8181
 9:00~17:00

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

運用報告書(全体版)

しんきん アジアETF株式ファンド

愛称：情熱アジア大陸

決算日

(第17期：2019年11月20日)


受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきんアジアETF株式ファンド」(愛称：情熱アジア大陸)は2019年11月20日に第17期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<http://www.skam.co.jp>

目 次

◇しんきんアジアETF株式ファンド	頁
最近5期の運用実績	1
当期中の基準価額と市況等の推移	1
第17期の運用経過等	2
1万口当たりの費用明細	5
売買及び取引の状況	7
利害関係人との取引状況等	7
第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況	7
自社による当ファンドの設定・解約状況	7
組入資産の明細	7
投資信託財産の構成	8
資産、負債、元本及び基準価額の状況	8
損益の状況	8
分配金のお知らせ	9
◇親投資信託の運用報告書	
しんきんアジアETF株式マザーファンド	10

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 額 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証券 率 組 入 比	純 資 産 額
		税 込 分	配 金	騰 落 中 率		
	円		円		%	百万円
13期(2017年11月20日)	10,000		60		95.4	1,625
14期(2018年5月21日)	9,928		0	△0.7	97.0	1,754
15期(2018年11月20日)	8,939		0	△10.0	95.8	1,676
16期(2019年5月20日)	9,060		0	1.4	96.1	1,699
17期(2019年11月20日)	9,462		0	4.4	96.9	1,754

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、投資信託証券(上場投資信託)の組入比率は実質比率を記載しています。

(注3) 当ファンドは、上場投資信託を通じてアジア(日本を除く)の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。(以下同じ。)

○当期中の基準価額と市況等の推移

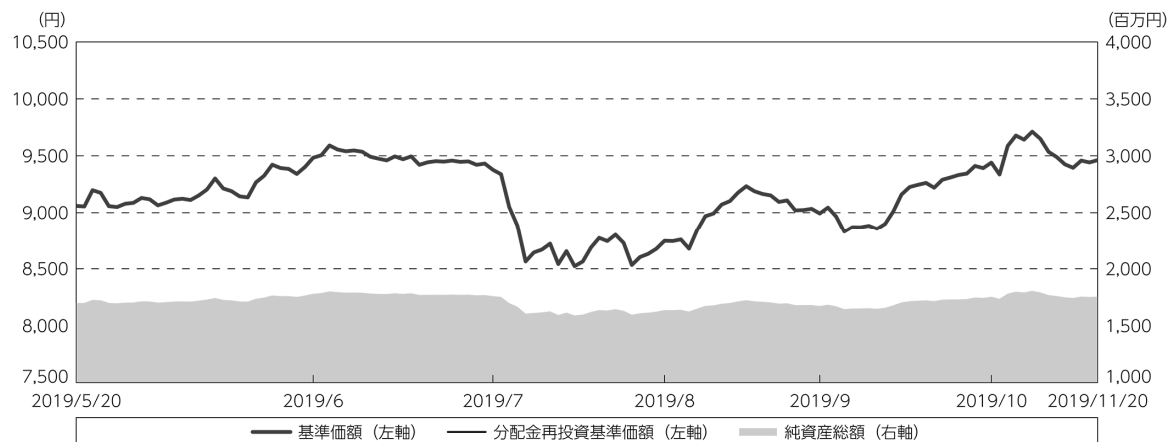
年 月 日	基 準 額	価 額		投 資 信 託 証券 率 組 入 比
		騰 落	率	
(期 首) 2019年5月20日	円 9,060		% —	% 96.1
5月末	9,118		0.6	96.6
6月末	9,483		4.7	96.9
7月末	9,377		3.5	97.4
8月末	8,746		△3.5	97.5
9月末	8,993		△0.7	98.2
10月末	9,440		4.2	97.8
(期 末) 2019年11月20日	9,462		4.4	96.9

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、投資信託証券(上場投資信託)の組入比率は実質比率を記載しています。

○第17期の運用経過等（2019年5月21日～2019年11月20日）

<当期中の基準価額等の推移>



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資基準価額は、期首(2019年5月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ファンドは、親投資信託である「しんきんアジアETF株式マザーファンド」を通じて、高い成長が期待されるアジア(日本を除く)各国の株式を対象とする上場投資信託(ETF)へ投資を行っています。

当期は、組み入れたETFの値上りを主な要因に、基準価額は上昇して終わりました。当期の基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

第16期末基準価額		9,060円	
要因	ETF	キャピタル	509円
		インカム	58円
	為替	△113円	
	小計	454円	
分配金		0円	
その他変動要因(信託報酬含む)		△52円	
第17期末基準価額		9,462円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

<上昇要因>

- ・米中貿易摩擦に対する懸念が和らいだこと。
- ・米連邦準備制度理事会(FRB)や欧州中央銀行(ECB)が金融緩和を決定したこと。
- ・中国株式市場が上昇基調で推移したこと。

＜下落要因＞

- ・世界経済の先行きに対する懸念が高まったこと。
- ・香港における逃亡犯条例の改正案をめぐる市民の抗議活動などから混乱が拡大したこと。

＜投資環境＞

（株式市況：アジア圏）

当期のアジア株式市場は、全体として上昇しました。

2019年5月以降、米中対立の激化と世界経済の先行きに対する懸念の高まりから下落する局面もあったものの、9月以降、米中貿易交渉の進展期待が高まったことに加え、FRBとECBが金融緩和を決定したことや、英国のEU（欧州連合）からの合意なき離脱への警戒感が後退したことなどを背景に、期末まで堅調な推移となりました。

なお、期首から期末までの投資対象である11の国・地域別の株価の動きは、香港、ベトナムおよびタイは軟調でしたが、その他の国は堅調となりました。

（為替市況：アジア圏）

当期のアジア通貨の対円為替相場については、まちまちの動きになりました。

低い消費者物価上昇率が継続していることや、その低い消費者物価上昇率に対して引締め気味の金融政策などを背景にタイバツ高円安となる一方、国内外の景況感の悪化や継続的な政策金利の引下げなどを背景にインドルピー安円高となるなど、対円の為替相場は上昇5、下落6となり、期を通じて、まちまちの動きになりました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

親投資信託である「しんきんアジアETF株式マザーファンド」の受益証券への投資を行い、期を通じて、組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきんアジアETF株式マザーファンド

中国、香港、台湾、インド、韓国、シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピンおよびベトナムの11の国・地域へ投資しました。各国・地域への投資割合については、株式市場の規模などを考慮して、基準割合を決定しました。

当期における11の国・地域の基準割合については、それぞれ、中国13%、香港13%、台湾13%、インド13%、韓国13%、シンガポール7.5%、マレーシア6%、インドネシア7.5%、タイ7.5%、フィリピン4%およびベトナム2.5%としました。

これらの基準割合に基づき、月次で、投資対象国・地域の景気、市場動向および政情などの観点からの分析による見直しを行い、それぞれの国・地域の株式組入比率を基準割合から±1%程度で調整しました。

当期における国・地域の主な比率調整では、期を通じて、ベトナムの組入比率を基準割合よりも高めに、韓国の組入比率を基準割合よりも低めに、推移させました。

＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当ファンドは、E T F への投資を通じてアジア（日本を除く）の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

＜分配金＞

収益分配金については、経費控除後の配当等収益や売買益、基準価額水準等を勘案した結果、当期の分配を見送りました。なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第17期
	2019年5月21日～ 2019年11月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	833

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

＜今後の運用方針＞

主として、親投資信託である「しんきんアジアE T F 株式マザーファンド」の受益証券に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

●しんきんアジアE T F 株式マザーファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、E T F への投資を通じ、高い成長性が期待されているアジア主要市場の株式に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

また、E T F の組入比率は原則として高位を保つこととし、各E T F の組入比率などについて、調整および変更等が必要な場合は随時行っていきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年5月21日～2019年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 53	% 0.581	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(20)	(0.221)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(30)	(0.332)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.013	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(1)	(0.013)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	2	0.021	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.020)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	56	0.616	
期中の平均基準価額は、9,192円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

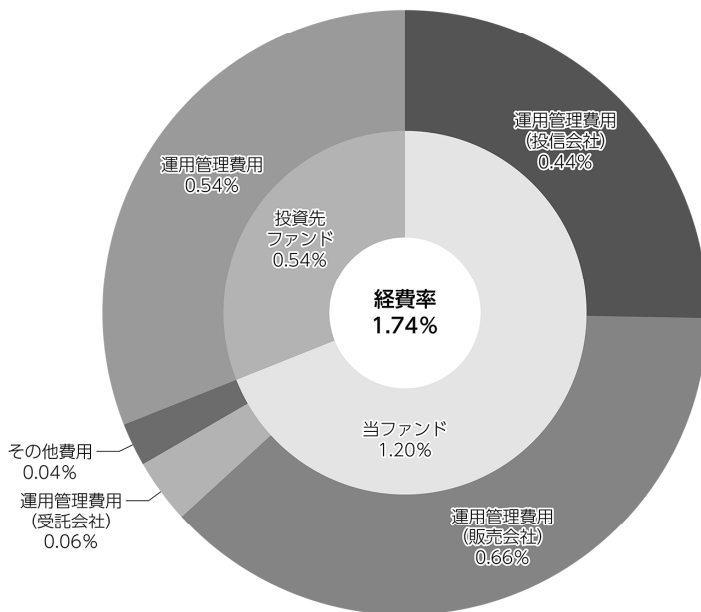
(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.74%です。



(単位: %)

経費率(①+②)	1.74
①当ファンドの費用の比率	1.20
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.54

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、親投資信託を通じて当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年5月21日～2019年11月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
しんきんアジアETF株式マザーファンド	千口 1,200	千円 2,000	千口 15,569	千円 25,000

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年5月21日～2019年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2019年5月21日～2019年11月20日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年5月21日～2019年11月20日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2019年11月20日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
しんきんアジアETF株式マザーファンド	千口 1,055,162	千口 1,040,793	千円 1,737,500

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきんアジアETF株式マザーファンド	1,737,500	98.4
コール・ローン等、その他	28,788	1.6
投資信託財産総額	1,766,288	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきんアジアETF株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(1,701,485千円)の投資信託財産総額(1,747,528千円)に対する比率は97.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2019年11月20日現在、1ドル=108.61円、1香港ドル=13.88円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年11月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,766,288,321
コール・ローン等	18,787,719
しんきんアジアETF株式マザーファンド(評価額)	1,737,500,602
未収入金	10,000,000
(B) 負債	11,909,457
未払解約金	2,099,446
未払信託報酬	9,809,733
未払利息	48
その他未払費用	230
(C) 純資産総額(A-B)	1,754,378,864
元本	1,854,115,245
次期繰越損益金	△ 99,736,381
(D) 受益権総口数	1,854,115,245口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,462円

(注1) 当ファンドの期首元本額は1,875,382,741円、期中追加設定元本額は73,916,892円、期中一部解約元本額は95,184,388円です。

(注2) 1口当たり純資産額は0.9462円です。

○損益の状況 (2019年5月21日～2019年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 9,441
支払利息	△ 9,441
(B) 有価証券売買損益	83,342,995
売買益	85,306,895
売買損	△ 1,963,900
(C) 信託報酬等	△ 9,812,201
(D) 当期損益金(A+B+C)	73,521,353
(E) 前期繰越損益金	△103,190,307
(F) 追加信託差損益金	△ 70,067,427
(配当等相当額)	(68,691,138)
(売買損益相当額)	(△138,758,565)
(G) 計(D+E+F)	△ 99,736,381
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 99,736,381
追加信託差損益金	△ 70,067,427
(配当等相当額)	(68,753,236)
(売買損益相当額)	(△138,820,663)
分配準備積立金	85,831,362
繰越損益金	△115,500,316

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(9,433,949円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(68,753,236円)および分配準備積立金(76,397,413円)より分配対象収益は154,584,598円(10,000口当たり833円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金 (税込み)	0円
-----------------	----

運用報告書

親投資信託

しんきんアジアETF株式マザーファンド

第9期

(決算日：2019年11月20日)

しんきんアジアETF株式マザーファンドの第9期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
主要投資対象	国内外の金融商品取引所に上場している投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。以下「上場投資信託証券」といいます。）を主要投資対象とします。
運用方針	①上場投資信託証券への投資を通じ、主にアジア各国（日本を除く）の株式に分散投資を行います。 ②投資対象となる上場投資信託証券の国別投資比率および銘柄選定にあたっては、市場規模、市場動向並びに成長性、収益性、流動性等を勘案して行います。 ③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ④市場動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
投資制限	①上場投資信託証券、短期社債等（社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）第66条第1号に規定する短期社債、同法第117条に規定する相互会社の社債、同法第118条に規定する特定社債および同法第120条に規定する特別法人債をいいます。）、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行いません。 ②上場投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の上場投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の50%を超えないものとします。 ④外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	投 証 組 入 比 率	託 券 率
		騰 落	中 率			
	円		%			%
5期(2015年11月20日)	14,482	△	3.5			96.0
6期(2016年11月21日)	13,222	△	8.7			97.5
7期(2017年11月20日)	17,255		30.5			97.6
8期(2018年11月20日)	15,577	△	9.7			97.6
9期(2019年11月20日)	16,694		7.2			97.9

(注) 当ファンドは、上場投資信託を通じてアジア（日本を除く）の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。（以下同じ。）

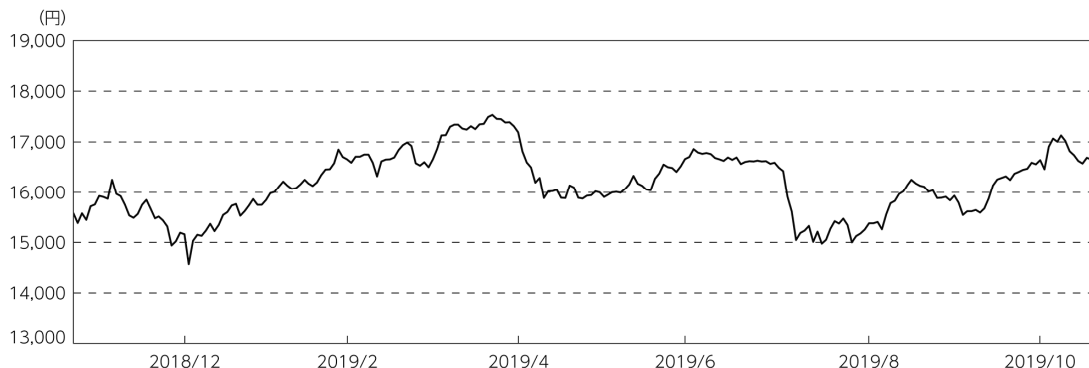
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 証 組 入 比 率	託 券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2018年11月20日	円		%		%
11月末	15,577		—		97.6
12月末	15,903		2.1		97.7
2019年1月末	15,161	△	2.7		96.9
2月末	15,840		1.7		97.7
3月末	16,657		6.9		98.1
4月末	16,655		6.9		97.9
5月末	17,193		10.4		96.4
6月末	15,999		2.7		98.0
7月末	16,663		7.0		98.4
8月末	16,491		5.9		98.6
9月末	15,381	△	1.3		98.9
10月末	15,836		1.7		98.9
11月末	16,644		6.8		98.5
(期 末) 2019年11月20日	16,694		7.2		97.9

(注) 騰落率は期首比。

○第9期の運用経過等（2018年11月21日～2019年11月20日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



当ファンドは、高い成長が期待されるアジア（日本を除く）各国の株式を対象とする上場投資信託（ETF）へ投資を行っています。

当期は、組み入れたETFの値上がりを主な要因に、基準価額は上昇して終わりました。当期の基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

- ・中国の2019年1～3月期の実質国内総生産（GDP）の増加率が、前期から横ばいと減速せず、中国の景気持ち直しへの期待が広がったこと。
- ・米中貿易摩擦に対する懸念が和らいだこと。
- ・米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）が金融緩和を決定したこと。
- ・中国株式市場が上昇基調で推移したこと。

＜下落要因＞

- ・2018年後半に中国の景気減速への警戒感が高まったこと。
- ・2018年後半に米国で暫定予算をめぐり、一部の政府機関が閉鎖されたこと。
- ・世界経済の先行きに対する懸念が高まったこと。
- ・香港における逃亡犯条例の改正案をめぐる市民の抗議活動などから混乱が拡大したこと。

＜投資環境＞

（株式市況：アジア圏）

当期のアジア株式市場は、全体として上昇しました。

2018年12月には、中国の景気減速への警戒感の高まりや、FRBが、想定よりタカ派（金融緩和縮小に慎重ではない）との見方が広がったこと、米国で暫定予算をめぐり、一部の政府機関が閉鎖されたことなどを背景に、下落しました。

2019年以降は、米連邦公開市場委員会（FOMC）において年内の利上げ見送りが示唆されたこと、米中貿易協議の進展期待の広がりや、中国の2019年1～3月期の実質GDPの増加率が前期から横ばいと減速せず、

中国の景気持ち直しへの期待が広がったことなどを背景に、4月まで堅調に推移しました。5月以降は、米中対立の激化と世界経済の先行きに対する懸念の高まりから下落する局面もあったものの、9月以降、米中貿易交渉の進展期待が高まったことに加え、FRBとECBが金融緩和を決定したことや、英国のEUからの合意なき離脱への警戒感が後退したことなど背景に、期末まで堅調な推移となりました。

なお、期首から期末までの投資対象である11の国・地域別の株価の動きは、マレーシアおよびタイは軟調でしたが、その他の国は堅調となりました。

（為替市況：アジア圏）

当期のアジア通貨の対円為替相場については、全体として下落しました。

2018年12月には、投資家のリスク回避的な動きが強まり、アジア通貨安円高の動きとなりました。その後、堅調に推移する局面もありましたが、2019年5月に、米国が、中国への追加関税や米国企業の華為技術（ファーウェイ）との取引を事実上禁止する措置を実施するなど、米中貿易摩擦が激化したことや、8月には、米中対立の激化と世界経済の先行きに対する懸念が高まったことなどを背景に、期を通じては、総じてアジア通貨安円高方向に進みました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

中国、香港、台湾、インド、韓国、シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピンおよびベトナムの11の国・地域へ投資しました。各国・地域への投資割合については、株式市場の規模などを考慮して、基準割合を決定しました。

当期における11の国・地域の基準割合については、期首はそれぞれ、中国13%、香港13%、台湾13%、インド13%、韓国13%、シンガポール8%、マレーシア6%、インドネシア7%、タイ8%、フィリピン4%およびベトナム2%としました。

2019年5月以降はそれぞれ、中国13%、香港13%、台湾13%、インド13%、韓国13%、シンガポール7.5%、マレーシア6%、インドネシア7.5%、タイ7.5%、フィリピン4%およびベトナム2.5%としました。

これらの基準割合に基づき、月次で、投資対象国・地域の景気、市場動向、政情などの観点からの分析による見直しを行い、それぞれの国・地域の株式組入比率を基準割合から±1%程度で調整しました。

当期における国・地域の主な比率調整では、期を通じて、ベトナムの組入比率を基準割合よりも高めに推移させました。その他の地域の組入比率については、2019年2月に、韓国を引き下げ、インドネシアを引き上げるなどの調整を行いました。

＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当ファンドは、ETFへの投資を通じてアジア（日本を除く）の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

＜今後の運用方針＞

引き続き、運用の基本方針に従い、ETFへの投資を通じ、高い成長性が期待されているアジア主要市場の株式に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

また、ETFの組入比率は、原則として高位を保つこととし、各ETFの組入比率などについて、調整および変更等が必要な場合は随時行っていきます。

○1万口当たりの費用明細

(2018年11月21日～2019年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 7 (7)	% 0.042 (0.042)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	6 (6) (0)	0.038 (0.037) (0.001)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	13	0.082	
期中の平均基準価額は、16,201円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2018年11月21日～2019年11月20日)

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	アメリカ		千ドル		千ドル
	iShares MSCI Indonesia ETF	12,000	302	6,000	146
	iShares MSCI Hong Kong ETF	3,000	69	1,000	25
	iShares MSCI Malaysia ETF	5,000	149	—	—
	iShares MSCI Singapore ETF	3,500	79	5,000	120
	iShares MSCI Taiwan ETF	8,800	279	11,500	412
	iShares MSCI South Korea ETF	5,600	320	4,500	278
	iShares MSCI India Index ETF	26,500	226	27,000	239
	iShares MSCI Thailand ETF	—	—	1,000	88
国	小 計	64,400	1,428	56,000	1,311
	香港		千香港ドル		千香港ドル
	iShares Core CSI 300 Index ETF	80,000	2,220	90,000	2,746
	Xtrackers CSI300 Swap UCITS ETF	—	—	169,800	1,352
	Xtrackers FTSE Vietnam Swap UCITS ETF	4,500	1,140	—	—
	小 計	84,500	3,361	259,800	4,099

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年11月21日～2019年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年11月20日現在)

外国投資信託証券

銘	柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率
		口 数	口 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		口	口	千ドル	千円	%
iShares MSCI Indonesia ETF		35,500	41,500	1,025	111,375	6.4
iShares MSCI Philippines ETF		19,200	19,200	666	72,360	4.2
iShares MSCI Hong Kong ETF		80,500	82,500	1,964	213,345	12.3
iShares MSCI Malaysia ETF		26,200	31,200	886	96,304	5.5
iShares MSCI Singapore ETF		48,200	46,700	1,149	124,824	7.2
iShares MSCI Taiwan ETF		46,600	43,900	1,760	191,195	11.0
iShares MSCI South Korea ETF		29,900	31,000	1,882	204,472	11.8
iShares MSCI India Index ETF		204,000	203,500	1,764	191,625	11.0
Xtrackers MSCI Thailand UCITS ETF		5,300	5,300	142	15,426	0.9
Xtrackers MSCI India Swap UCITS ETF		23,400	23,400	278	30,281	1.7
iShares MSCI Thailand ETF		12,200	11,200	987	107,252	6.2
Xtrackers MSCI Indonesia Swap UCITS ETF		8,400	8,400	129	14,118	0.8
Xtrackers MSCI Taiwan UCITS ETF		10,800	10,800	354	38,556	2.2
小 計	口 数 ・ 金 額	550,200	558,600	12,992	1,411,140	
	銘柄 数 < 比 率 >	13	13	—	< 81.2% >	
(香港)				千香港ドル		
iShares Core CSI 300 Index ETF		253,000	243,000	6,986	96,969	5.6
Xtrackers CSI300 Swap UCITS ETF		1,302,000	1,132,200	9,306	129,176	7.4
Xtrackers FTSE Vietnam Swap UCITS ETF		13,500	18,000	4,536	62,959	3.6
小 計	口 数 ・ 金 額	1,568,500	1,393,200	20,828	289,105	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	3	—	< 16.6% >	
合 計	口 数 ・ 金 額	2,118,700	1,951,800	—	1,700,245	
	銘柄 数 < 比 率 >	16	16	—	< 97.9% >	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切り捨て。

<組入上位ETFの保有銘柄の明細>

※BlackRock Inc. 作成のANNUAL REPORTの内容を基に、しんきんアセットマネジメント投信(株)が作成しています。

iShares MSCI Hong Kong ETF

組入上位10銘柄 (2019年8月末現在)

(組入銘柄数 46銘柄)

	銘柄名	比率 (%)
1	AIA GROUP LTD	23.76
2	HONG KONG EXCHANGES AND CLEARING LTD	7.39
3	LINK REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	4.78
4	CK HUTCHISON HOLDINGS LTD	4.75
5	SUN HUNG KAI PROPERTIES LTD	4.56
6	HONG KONG AND CHINA GAS LTD	3.96
7	CK ASSET HOLDINGS LTD	3.55
8	CLP HOLDINGS LTD	3.42
9	HANG SENG BANK LTD	3.22
10	GALAXY ENTERTAINMENT GROUP LTD	2.75

iShares MSCI South Korea ETF

組入上位10銘柄 (2019年8月末現在)

(組入銘柄数 113銘柄)

	銘柄名	比率 (%)
1	SAMSUNG ELECTRONICS LTD	22.08
2	SK HYNIX INC	5.97
3	NAVER CORP	2.91
4	HYUNDAI MOTOR	2.80
5	SHINHAN FINANCIAL GROUP LTD	2.56
6	HYUNDAI MOBIS LTD	2.43
7	POSCO	2.32
8	KB FINANCIAL GROUP INC	2.23
9	LG CHEM LTD	2.17
10	CELLTRION INC	1.99

iShares MSCI India Index ETF

組入上位10銘柄 (2018年12月末現在)

(組入銘柄数 78銘柄)

	銘柄名	比率 (%)
1	RELIANCE INDUSTRIES LTD	10.12
2	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE CORPORATION LTD	10.01
3	INFOSYS LTD	7.29
4	TATA CONSULTANCY SERVICES LTD	5.40
5	HINDUSTAN UNILEVER LTD	3.74
6	AXIS BANK LTD	3.53
7	ITC LTD	3.06
8	ICICI BANK LTD	2.72
9	MARUTI SUZUKI INDIA LTD	2.50
10	LARSEN AND TOUBRO LTD	2.18

※上記は、iShares MSCI India Index ETFが組み入れている「iShares MSCI INDIA MAURITIUS CO.」の組入上位銘柄です。

○投資信託財産の構成

(2019年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,700,245	97.3
コール・ローン等、その他	47,283	2.7
投資信託財産総額	1,747,528	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (1,701,485千円) の投資信託財産総額 (1,747,528千円) に対する比率は97.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2019年11月20日現在、1ドル=108.61円、1香港ドル=13.88円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年11月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,747,528,664
コール・ローン等	47,282,982
投資信託受益証券(評価額)	1,700,245,682
(B) 負債	10,000,360
未払解約金	10,000,000
未払利息	119
その他未払費用	241
(C) 純資産総額(A-B)	1,737,528,304
元本	1,040,793,460
次期繰越損益金	696,734,844
(D) 受益権総口数	1,040,793,460口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,694円

(注1) 当親投資信託の期首元本額は1,056,464,697円、期中追加設定元本額は16,370,395円、期中一部解約元本額は32,041,632円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額は、しんきんアジアETF株式マザーファンド1,040,793,460円です。

(注3) 1口当たり純資産額は1.6694円です。

○損益の状況 (2018年11月21日～2019年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	27,844,826
受取配当金	27,866,271
支払利息	△ 21,445
(B) 有価証券売買損益	91,188,941
売買益	155,049,773
売買損	△ 63,860,832
(C) 保管費用等	△ 655,093
(D) 当期損益金(A+B+C)	118,378,674
(E) 前期繰越損益金	589,184,933
(F) 追加信託差損益金	9,129,605
(G) 解約差損益金	△ 19,958,368
(H) 計(D+E+F+G)	696,734,844
次期繰越損益金(H)	696,734,844

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。